

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 8 月 20 日 (2015.8.20)

【公開番号】特開 2014-102580 (P2014-102580A)

【公開日】平成 26 年 6 月 5 日 (2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報 2014-029

【出願番号】特願 2012-252605 (P2012-252605)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0485 (2013.01)

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/048 6 5 6 D

G 0 6 F 3/048 6 2 0

G 0 6 F 3/041 3 3 0 C

G 0 6 F 3/041 3 8 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 3 日 (2015.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示領域にあるコンテンツ上の領域を表示する表示装置と、
検出対象物の接触により操作指示の入力を受け付けるタッチパネルと、
 前記タッチパネルと前記検出対象物との接点の数を計数する計数部と、
 前記タッチパネル上での前記接点の軌跡に基づいて、前記操作指示が、前記表示領域を
 前記コンテンツに対して移動させるスクロールの操作指示であるか否かを判定する判定部
 と、

前記接点の軌跡の移動速度に基づいて、前記表示領域をスクロールさせる初速度を決定
する決定部と、

接点の数と減衰量係数とを対応付ける減衰量変更情報を参照して、前記計数部が計数し
た前記接点の数に対応付けられている減衰量係数を取得し、該減衰量係数を用いて減衰量
を算出する減衰量算出部と、

前記判定部がスクロールの操作指示であると判定した場合に、前記決定部が決定した前
記初速度によるスクロールを実行したのち、前記減衰量算出部が算出した前記減衰量を用
いて前記スクロールの速度を減衰させる変更部と、

を備える、

情報処理装置。

【請求項 2】

表示領域にあるコンテンツ上の領域を表示する表示装置と、
検出対象物の接触により操作指示の入力を受け付けるタッチパネルと、
前記タッチパネルと前記検出対象物との接点の数を計数する計数部と、
前記タッチパネル上での前記接点の軌跡に基づいて、前記操作指示が、前記表示領域を
前記コンテンツに対して移動させるスクロールの操作指示であるか否かを判定する判定部
と、

前記接点の軌跡の移動速度に基づいて、前記表示領域をスクロールさせる初速度を決定する決定部と、

接点の数と粘性摩擦係数とを対応付ける粘性摩擦係数変更情報を参照して、前記計数部が計数した前記接点の数に対応付けられている粘性摩擦係数を取得し、前記決定部が決定した前記初速度によるスクロールを実行したのち、該粘性摩擦係数を用いた減衰運動の方程式に従って前記スクロールの速度を減衰させる変更部と、

を備える、

情報処理装置。

【請求項 3】

前記変更部は、前記接点の数が、あらかじめ定めた数である場合には、前記表示領域を前記コンテンツの末端まで移動させるように、スクロール量を変更することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

検出対象物の接触により操作指示の入力を受け付けるタッチパネルと、前記検出対象物との接点の数を計数し、

前記タッチパネル上での前記接点の軌跡に基づいて、前記操作指示が、表示装置に表示されている表示領域をコンテンツに対して移動させるスクロールの操作指示であるか否かを判定し、

前記接点の軌跡の移動速度に基づいて、前記表示領域をスクロールさせる初速度を決定し、

接点の数と減衰量係数とを対応付ける減衰量変更情報を参照して、計数された前記接点の数に対応付けられている減衰量係数を取得し、該減衰量係数を用いて減衰量を算出し、

前記操作指示がスクロールの操作指示であると判定された場合に、決定された前記初速度によるスクロールを実行したのち、算出された前記減衰量を用いて前記スクロールの速度を減衰させる、

処理をコンピュータに実行させるプログラム。